

かがわ

自治連だより

住みたいね。嘉川 ひとよし ものよし ところよし



Vol.22 令和3年
3月31日

発行:嘉川自治連協会 編集:広報委員会

〒754-0897 山口市嘉川4651-1

山口市嘉川地域交流センター

TEL/FAX:083-989-3956

メールアドレス:info@kagawaj.com

自治連だよりの

ロゴマークによせて



昨年2月から発生した新型コロナウイルスは、現在も収束せず私達の生活を不自由にしています。

このコロナのために嘉川地域の大きな行事である体育祭、文化祭をはじめ各種のスポーツ行事、各団体の総会や多くの会合が中止や縮小となりました。

しかし、こんなコロナ禍にあっても感染防止に気を配りながら、8月以降活動したことを次頁で紹介します。

ところで、前号から新たに目にかけている「かがわ自治連だより」のロゴマークについて説明します。

全体の形は嘉川の地域を表し、4つに色分けされたエリアは、緑色は山地、桃色は住宅街、黄色は農地、青色は海岸を

◎嘉川自治連協会長 松崎 恒雄

イメージしています。

嘉川地域の移り変わった自然を検証してみますと、考えさせられることがあります。

山地は手入れが行き届かず竹が繁茂しましたが、里山づくりが手がけられています。住宅街では新しい住宅が増えて

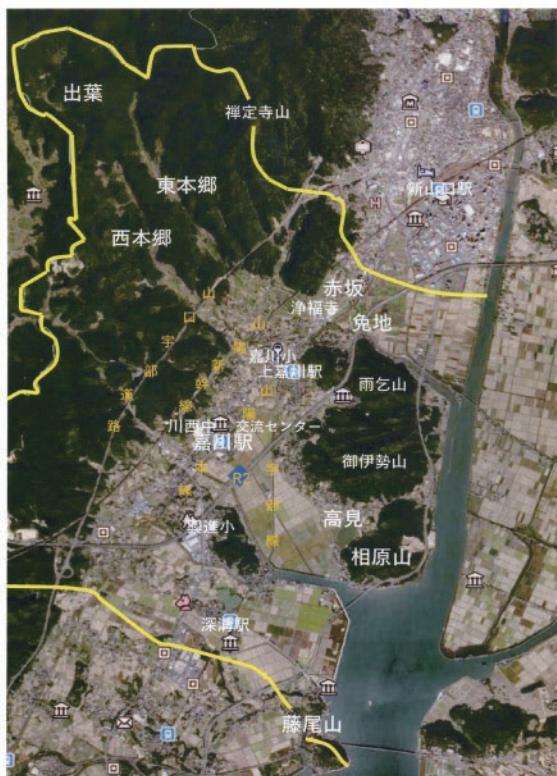
きましたが、空き家も増えています。農地は圃場整備が進み生産効率が高まる一方、住宅周辺では荒廃地も目立ちます。

山口湾には周防大橋が架かり景観や水質も良くなりましたが、あさりやかき、のり等が採れなくなりました。

自然の恩恵を受けていた昔のことを思い出すと、一抹の寂しさを感じますが、これからは私達のふるさと、嘉川がより

住みやすく、発展することを願わずにはいられません。

嘉川の全景



嘉川の皆さん、このロゴマークが示すエリアがそれぞれの特長を生かした輝きをみせるように、また、地域が一体となって発展するように、知恵を出し合い行動しましょう。

できることをやる

◎交流センター所長 棟久 和成

2020年は突然の新型コロナウイルスによって、これまで数多くの賞に輝いた川西中学校有志合唱団が毎年出場している合唱コンクールも無くなった。

そんな状況の中で、団員の皆さんが自分たちのできることを自ら考え、地域の役に立とうと夏休みに交流センターへ清掃ボランティアにきてくれた。

その気持ちがとても嬉しくて、お返しに「悔しい年」を「思い出に残る年」へ変えてもらえるようにと中川主事が有志合唱団のDVD製作を企画した。制作にあたっては嘉川出身の元TV局プロカメラマンの縄田皓さんに協力をいただいた。

何度も中学校へ撮影に向いたことで、コロナ禍における中学校生活をリアルに捉えることができた。そして、このDVDは「できることをやろう」という生徒達と周りの大人の思いが詰まった作品として完成し、有志合唱団の三年生を送り出す解団式で披露された。

コロナ対策で身体的距離をとることが求められる世の中だが、生徒の皆さんと私達の心の距離はぐっと近づいた。



禍でも とりながら～

ひとづくり部会

◎ひとづくり部会長
落合 敏行

「お悩み相談会」開催

9/19
④

18自治会が参加
自治連交流センターと意見交換

コロナ禍の影響により総会を中止したことや今年度が嘉川地域づくり5箇年計画のスタート年であることから、自治会との意見交換の場を設けたものです。



事前に、入・退会、役員、行事、防災、アパート入居者への対応、その他の7項目で悩み事アンケートを実施しました。23の自治会から69件の悩みや意見があり、相談会でも多くの意見が出ました。

○ 高齢化や世帯減少、個人情報保護の中で、住民同士との関りが希薄になっていることやコロナ禍の影響もあって行事や活動が出来ない。

○ 若い人は共稼ぎが多く、70歳を過ぎて働いており、役員のなり手がいない。

○ 地域内の各団体を含めて役員の負担軽減を求める声や団体会費の使途がわからないなどの意見が出されました。

○ ゴミ出しのマナーや道路への不法投棄、下水道整備や太

陽光パネルに絡む問題など、日常生活上での問題などの意見も出されました。

それぞれの悩みを自治会間で共有し、自治連は悩みの解決に向け、関係機関へ働きかけるとともに、今後の活動の重要課題に位置付け、住んで良かったと言われる地域づくりに向けて取り組めます。

第3回元気あつぷチャレンジ

嘉川コミタクに乗って相原山へ

11月11日、コミタク利用などで27名が相原公民館に集合した。そこで健康チェックとラジオ体操をして、いよいよ相原山へ。9.8.7mの低い山だが、思ったより急勾配で歩きにくく、私にはしつかり登山だった。皆さんに励まされやつとたどり着いた頂上には絶景が待っていた。青い空、山口湾のキラキラ光る海と周防大橋が見渡せ、ふりかえれば名田島ののどかな田園風景が広がっている。お弁当を食べ、しばらく楽しんで下山へ。帰り道は元気組は高見方面へ私たちお疲れ組は来た道を下りる。足下の悪い道をやつと下り、漁協に寄つたり、しばし相原公民館で休んだりして、またコミタクで交流センターへ。帰りはコミタクのコースの浦辺を通り、ドライブまで楽しめた。



写真撮影のため一瞬マスクをとりました

◎田中 澄子(岡)

コロナ禍を忘れ、ふるさとの自然にふれ、癒された一日だった。

人は皆、人とのあたたかいふれあいを求めている。

車座トーク

◎自治連会長 松崎 恒雄

今年度の車座トークを、8月20日に開催しました。嘉川から次のような要望や提言をしました。

- 1 嘉川地域振興策が10分であり、これを話し合う場が必要である。
- 2 江崎地区の下水道整備促進と東本郷、西本郷の道路整備が急務である。
- 3 嘉川コミタクの運転補助としてコロナのための特別補助とともに、地域負担率を下げることを要望する。
- 4 特定用途制限地域の解除を要望する。
- 5 嘉川八幡宮の木製彫刻の修理や浄福寺古墳の発掘調査を要望する。
- 6 放課後の児童クラブに学校運動場や体育館の使用を許可して欲しい。
- 7 国道2号線の不法投棄について
- 8 太陽光発電設置事業者への指導をして欲しい。

詳細については当日の議事録が嘉川地域交流センターの図書室にありますので閲覧してください。

自主防災本部

◎副本部長
長掛 実

小中学生の「命を守る防災学習」

小中学生の防災力向上のため、コロナ感染防止に配慮しながら、防災学習を行いました。

10月2日に嘉川小学校、10月7日に興進小学



避難所用簡易ベッドの作成

小中学生は体験しながら考え、楽しく防災知識を学ぶことが出来たと思います。災害発生時にはこれらを活かした行動となることを期待しています。

12月14日に川西中学校で、1、2年生を対象に避難所で役立つ廃段ボールを使用した簡易ベッドや簡易トイレ、衝立^{ぶつき}を作成し、被災時に中学生として地域に貢献できる体験学習となりました。

校で、4年生を対象に、クイズ形式により自然災害の怖さや防災グッズの重要性を学び、災害に備えて自分や家族の命を守ることを学習しました。

他の団体は…

秋の夜のコンサート

◎嘉川婦人会長 安元 寿代
9月18日「秋の夜のコンサート」を、無事開催いたしました。

今年度コロナ禍で色々の行事が中止となる中、この秋の夜のコンサートもご多分にもれず一度は「やはり開催は難しいですね」と中止の方向に向いていました。

しかし、出場を楽しみにして下さっている地域の音楽好きの方、毎年コンサートを心待ちにして下さっている皆さまの想いを考え、開催すること



にしました。もちろん、入場時の消毒・検温を始め、出場数、参加者数の制限、イスの間隔…いろいろ例年とは違う気遣いもありながら始まったコンサート。始まってみればいとも変わらぬほのぼのとした雰囲気。やはり開催して良かった。ステージを見ている皆さんの笑顔を見ながら心からそう思ったひとときでした。

今年は、初出場の金光雄一さんのピアノ演奏を皮切りに、ベテランの伊藤善幸さんのハーモニカ。ト리는、やはりおじさんズのバンド演奏。来年は、いつも通りの秋の夜のコンサートが開催できますように、と願うばかりです。

西本郷出葉コスモスウォーキング

◎嘉川元気会 河野 重智(下中野)
出葉(ゆずりは)平家落人の里にコスモス畑があり、花を見に昨年10月9日にコスモスウォーキングを行いました。

当日は、東本郷・大歳神社に37名が集い、地域外からも、9名参加されました。検温チェック、マスク着用、三密防止のコロナウイルス感染防止対策をとりながら約3.1kmのウォーキングです。東本郷、西本郷のコスモスを眺めながら道中、青面金剛を拝み、約900Mの坂道を上ります。狭い谷間を抜けると田園地帯が広がり、いかに「隠れ里」といった感じで、コスモス畑がひろがります。畑守の渡辺静雄さんが笑顔で迎えて下さり、



里の往時をしのぶお話をしていただきました。コスモス畑は猪がお先に鑑賞していましたが、十二分に楽しめました。昼食後、「おじさんズ」の演奏会があり、お楽しみ品のビンゴゲームも盛り上がりしました。

天気にも恵まれ、歴史の息吹を感じながらこの和む一日となりました。これからも、みんなで四季折々の風景を楽しみながら嘉川の宝物を見つけ、ウォーキングを続けたいものです。

しめ縄づくり

◎赤坂いきいきサロン 織田村 公子
当サロンでは年の瀬に二緒に楽しく我が家のしめ縄作りに参加しませんか」という活動をしています。コロナ禍ですが「是非やろう」と地区内の皆様



写真は昨年撮影したもの

に案内を出した後に、新型コロナの感染が拡大し、安心できる状況ではなくなり急遽中止に。今までも、一人暮らしの高齢者の方にしめ縄をお届けし、大変喜ばれていたため、世話人だけでも集まり今年もやろうということになりました。ベテランの方に指導をお願いし、苦心しながらも徐々に縄をよりあげられるようになり、ウラジロ・旗等を付けると、立派なしめ縄りができました。ひと言を添え、早速お配りしました。笑顔でお礼を言われたり、「楽しみに待っておられたよ」とかお聞きするとまた来年もと思いを新たにしました。

地域では今??

台風10号で 大規模な避難体験

▼避難所を開設しました

◎自主防災本部 副本部長 長掛 実

令和2年9月6日、超大型台風10号が襲来するとの警戒情報もあつて、嘉川地域交流センターに最接近の前夜8時までに、53人もの多くの方が避難されました。

今年にはコロナ禍での避難行動でしたので、避難される方も受け入れる側も緊張しながらの対応となりました。受付で発熱や既往症等を確認し、2階の大会議室で感染リスクを避けるよう、間隔をとりました。

多くの方が持参された弁当やパン等で食事をされ、暴風が収まった翌朝9時前に帰宅されました。

ところが、朝7時頃に突然停電があり、エアコンやエレベーターが停止し、不自由を感じました。

コロナの収束が待ち望まれますが、今後は土砂災害、河川氾濫、高潮等の自然災害のリスクは高まるばかりです。台風10号の避難行動や非難所運営での多くの体験を活かして、停電・断水時の対応を



含めた準備を進めていきたいと思っています。地域の皆様、安心安全のために一体となって取り組みましょう。

▼避難所を利用しました

◎北の江東自治会長 伊藤 春正

自主防災避難で昨年初めて交流センターへ避難しました。ソーシャルディスタンスをとりながらの事で大変良かったと思います。今までは、小学校体育館で暑い中でしたが、今回は身体にも良かったと思います。

一つお願いするとしたら、避難の受付をもう少し早目にしてほしかったこと。一ヶ所に集まるのではなく、空室があつたので、広げてもらいたかったこと。夕食、朝食の希望者があれば、手配してほしいことです。初めての事なので今後期待しています。



◎津脇 保大(相原)

昨秋の台風10号県内上陸情報により、自治会長さんより自主避難の連絡を受けました。

コロナ禍、家の被害が気にはなりましたが簡単な食物と寝具を準備し決断しました。

避難所では嘉川自治連合会の方が感染予防等、手際良い対応をされておられました。一晩中交替で寝ずに周辺の状況の確認をされておられましたこと大変心強く安心でした。何事もなく無事で何よりでした。

その節は関係者の方々、御苦勞様でした。親切な対応ありがとうございました。



嘉川駅は120才になりました

◎環境づくり部会長 末岡 茂美

嘉川駅は、明治33年12月3日に創業開始、昨年で120周年を迎えました。これを機会に嘉川駅をみんなの駅にと位置付け、昨年11月にJRと協議、新掲示板の設置と利用の協定を結びました。



当駅は創業以来、米、肥料等の貨物扱いも多く、現在でも貨物引込み線路が残っており、乗降客は昭和35年がピークで年間342,603人も利用していました。また70〜80代の方々にとっては、毎日の通勤や通学にSL乗車だったという想い出の駅でもあることでしょう。当時は川西中学校の汽車通学生も多く、帰宅時には校門を出た中学生に「汽車を出すぞー、走れー」と大声で叫ばれ、出発が遅れる程優しい駅員さん達。毎日のどかな光景でした。

今後、掲示板に嘉川自治連合会、小学校のお知らせやポスター、嘉川のニュース等掲示、皆様と情報を共有したいと思えます。

また、現在清掃をされている方々と一緒に清掃活動もしていきます。



嘉川駅開業当時の写真

嘉川で見つけた私の楽しみ

◎永田 和幸(中市)

双子の誕生を機に嘉川に住み始めて10年。両家の中間点で交通の便がよく、何よりものどかな風景に惹かれましたが、知り合いもなく、新しい土地での生活に不安もありました。しかし、「しゅっぱつぽ」へ通ったり、運動会・ソフト・子どもみこし等の地区の行事を通してたくさんの方との出会いがあり、今ではとても楽しく過ごせています。

我が子たちは今、嘉川・興進・佐山の児童が所属している川西野球クラブに入っています。野球の技術や体力向上だけではなく、あいさつや礼儀なども熱心に指導してくださいます。子ども達と一緒に野球で汗をかくたり、成長を近くで感じたりと毎週の練習が今の私の楽しみです。(団員募集中！)



もう一つの楽しみがウォーキングです。コロナ禍で色々な行事が中止となりましたが、ふるさとマップを片手に家族で嘉川中を歩き、豊かな自然と、出会う人の笑顔やあいさつに癒されながら、改めて嘉川のすばらしさを感じています。

PTA会長をしていた時に見守りで始めた立哨ですが、子ども達の元気なあいさつに私の方が元気をもらい、今ではすっかり毎朝の楽しみで習慣となりました。これからも地域との絆を大切に、豊かな自然と人々の温かさが魅力の嘉川で、子ども達が心も体も大きく成長する姿を見守り続けたいと思います。



楽しく長く

◎音楽教室講師、陶人形作家
吉永 尚子(下高根)

「こんにちは！元氣な挨拶からはじまります。幼児から大人まで幅広い年齢層の方が来られます。レッスン内容もピアノ曲に限らずジャンルも様々です。新しい曲に挑戦したり、お気に入りの曲をおさらいしたりと限られた時間の中で内容は盛りたくさんです。すぐには弾けない所も一緒に練習を重

ね、思うようにできた時には生徒さんの顔もパツと輝き、私も思わず拍手することもあります。少しずつの練習がつながって曲が仕上がっていく過程に喜びがあります。

陶芸は自宅工房で作陶しています。月2回教室を開いており、生徒さんが食器や人形など思い思いの作品を作られるお手伝いをしながらアドバイスもしています。他にも出張による陶芸体験も行っており、「いきいきサロンたかね」での干支作りも二巡目になりました。毎年皆さんの表情豊かな作品が出来上がります。昨年は多くの行事が中止となりましたが、無事に行うことができました。

今はすぐに結果を求められることが多いですが、音楽も陶芸も一つのことを仕上げるには時間がかかります。そして追究すれば終わりもありません。順調に進む時もあります。でも、どちらの経験も無駄はなくなります。でも、どちらの経験も無駄はなくなり、色々なことに生きてくると思っています。私も試行錯誤の毎日ですが、

今後音楽や陶芸に親しもうと思われている方に寄り添い、小さな発見を糧に進んでいこうと思っています。



情報発信

《私の自治会は》

免地の地名の由来と継承行事

◎免地自治会長 藤津 正樹

免地の地名の由来は、室町時代大内興盛の妻妙智尼の領地であったので、諸役が免除されていたことによると伝え聞いている。妙智尼は大内氏滅亡後、この地に庵をたて、尼僧となつて一族を弔いながら当地で生涯を終えた。

また、当地には大蔵神社があり、祭神は大国主命で、穀物の神である事から毎年年末に農作物の収穫を感謝して、祭りを行っている。毎年当家族が、班全員でしめ縄を作り奉納して、1年間神社の世話をする。神事は嘉川八幡宮の神主に依頼して、自治会員全員が神社に集まり参拝を行う。神事終了後直会となる。弁当とお酒を飲みながら、年配者と若者とが雑談出来る場となっている。しめ縄作りなど今後難しい問題もあるが、会員が和やかに話合いの出来る場として形を変えながらも、この伝統行事が継承される事を期待している。

他にも、明治13年の記録がある木札を各家に順番に回し、木札が来た家は、夕方に大蔵神社にお参りする習慣がある。木札には、「二夜留置事ヲ堅ク禁ス」の文字が刻まれており、明治・大正・昭和の戦争などの騒乱期に紛失もなく伝わった



事に、感動と同時に次の時代に引き継いでいく責任を感じる。

海・山・古墳・神社・遊具がある 嘉川の公園へ行こう

赤坂公園

赤坂公園は、宇部市営バス赤坂バス停前にある浄福寺に隣接した0.15ha(約450坪)の広場です。子ども会の花壇のそばにブランコとセメントの滑り台があります。そばの浄福寺古墳には熊野神社も祀られ、御神木・縁結びの木とも言われる榎木えぎの木も生えたことなっています。また嘉川お大師参りの起点になる浄福寺には種々の史跡・遺跡があり大人も楽しめます。気軽に遊びに来てください。



◎西山 京子(赤坂)

高見くら公園

高見くら公園は、高見公民館・明神社・グラウンド・池などの一帯に、数年前より桜の苗木を植えたり芝を張ったりして公園として整備をしており、草刈りや芝の手入れや水やりなど自治会で協力し合って管理しています。

春は、昔からある明神社前の枝垂れ桜や、グラウンド周辺の桜が満開となり、公園は桜の花に包まれます。それはそれは見事です。



藤尾山公園

きらら道路を唐樋で下りて海側へ。坂を上れば藤尾山公園。2019年リニューアルの、色鮮やかな大型遊具が目飛び込む。一帯からは山口湾、阿



幼い子どもが安心して遊べるよう枠囲いがある

相原山登山口でもあり、きらら公園側の道は遊歩道へと続きます。ご家族で、お友達で、ぜひどうぞ。

◎本永 里美(高見)

知須、秋穂、九州方面までの大パノラマが展開される。眼下には青い海に、白鷺舞うかのような周防大橋。圧巻の美しさである。山上にローラー滑り台、遊園地には大小のアスレチック、ブランコ、雲梯雲は、運動広場等。お弁当を持ってさあ、「GOTO 藤尾山！」

◎矢橋 保子(深溝東)

ホームページを有効に活用しよう!!

「嘉川自治連公式ホームページ」を開設しています。QRコードを読み取ればスマートフォンなどでもご覧いただけます。



編集後記

昨年からの新型コロナウイルスの襲来、更に今年新たな変異ウイルスが出現した。この見えない敵は、私達が今まで当たり前前に集い、笑い、食べて謳歌して来た生活を、根幹から揺るがしている。しかし負けられない。少しずつ分かってきている感染対策を守りながら活動を開始している。

「自治連だより22号」をお届けします。